



沢辺税理士事務所通信

令和 2 年 9 月 1 日号

NO.079

半沢直樹で思い出した、JAL の破綻と再生

今シリーズから半沢直樹を見始めましたが、すっかりはまっております。私の息子いわく「悪役をこんなに好きになったドラマは初めて」らしく、大和田常務とか、シリアス演技なのにギャグ化してくるのも面白いですね。

第 5 話からの帝国航空の話は日本航空 (JAL) がモチーフになっていますが、JAL の経営破綻はそんな昔の話ではないので、記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。JAL は 2010 年に会社更生法の適用を申請して、負債総額 2 兆 3,000 億円以上で倒産。ところがわずか 2 年後の 2012 年 9 月には再上場を果たして、コロナ禍で業績が悪化するまでは毎年 1,700 億円以上の営業利益を叩き出す超優良企業に生まれ変わった、という激動の歩みをしている会社です。

当時は民主党政権で、前原国土交通大臣 (例の女性大臣のモデル?) が再生タスクフォースを結成し、その後企業再生支援機構に引き継がれ、金融機関に 5,000 億円超の債権放棄をさせ、3,500 億円の公的資金を注入し、株式を 100% 減資しました。

今サラッと 100% 減資と書きましたが、どういうことかわかりますか? 100% 減資なので、資本金を 0 円にするということです。それはつまり、株主の持っている株式がただの紙切れに変わったことを意味します。再生に向けて経営資源を少しでも維持するために、株主は全員切腹させられた、ということですね。

JAL が再生したのは京セラ創業者の稲盛和夫氏が会長に就任して経営改革を図り、企業風土が変わったことが大きいと言われています。ドラマ同様、大幅な人員削減や企業年金の削減もあったようです。日本を代表する企業ですし、このコロナ禍もなんとか乗り越えてもらいたいです。

ところで、当時は 2009 年の秋ころには、JAL はもう破綻するだろうという話がかかなり大きくなっていて、私もわかる範囲で色々調べた結果、「これは絶対、すぐにでも破綻するな」と思っていました。

そして当時の私の株式の取引履歴を見ると、私は 10 月ころからしつこく空売りを繰り返していました。「空売り」とは株価が下がるほど儲かる仕組みの取引で、2009 年 10 月始めの株価は 1 株 140 円くらいで、破綻して 1 円 (紙くず) になると 1 株につき 139 円、10,000 株なら 139 万円儲かるな、という算段でした。

ところが、たしか当時は「公的資金で、政府は何が何でも JAL を殺さない」「救済する企業株主が現れて株価は急回復する」みたいな意見も根強く、そのうち「すぐにでも紙くずになりそうなのに、何でこんなに株価が下がらないんだ」と疑心暗鬼になり、自分の読みが誤ったのだらうと思って 12 月には完全に撤収しました。その後 2010 年 1 月 19 日に会社更生法を申請しましたので、なんて私には才能がないのだらうと思ったことを思い出しました。

沢辺税理士事務所 株式会社沢辺会計コンサルタント

〒732-0811 広島市南区段原三丁目3番27号 段原メディカルビル3階

TEL 082-236-3935 FAX 082-236-3936 HP: <http://www.sawabe-ac.jp>